

2020年8月7日

各位

会社名 株式会社東急レクリエーション
代表者名 取締役社長 菅野信三
(コード番号 9631 東証第2部)
問合せ先 取締役常務執行役員 石崎達朗
(TEL. 03-3462-8870)

特別損失の計上及び2020年12月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年12月期第2四半期累計期間におきまして、下記の通り特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。また、2020年5月28日に公表しました「2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2020年12月期第2四半期累計期間連結業績予想につきまして、その後の業績動向を踏まえ修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 臨時休業による損失の計上について

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、臨時休業を行っております。その期間中に発生した固定費(人件費、賃借料、減価償却費等)471百万円を臨時休業による損失として、特別損失に計上することとなりました。

2. 2020年12月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正(2020年1月1日~2020年6月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	8,714	△917	△969	△1,063	△166円61銭
増減額(B) - (A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年12月期第2四半期)	16,289	946	909	589	92円35銭

3. 公表の理由

2020年12月期第2四半期累計期間の連結業績におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言に基づき大部分の店舗にて臨時休業を実施いたしました。緊急事態宣言の解除後は、段階的に営業を再開いたしましたが、感染不安による外出自粛や新作映画の公開延期等の影響により例年に比べ映像事業が大きく落ち込んでおります。その結果、売上高が大幅な減収となり、多額の損失を計上する見込みとなりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ見通しが立たない状況にあるため、現時点で業績予想を適正且つ合理的に算定することは困難であることから、2020年12月期通期連結業績予想につきましては、引き続き「未定」とさせていただきます。今後、業績予想の合理的な算定が可能となりました段階で速やかに公表させていただきます。

以上